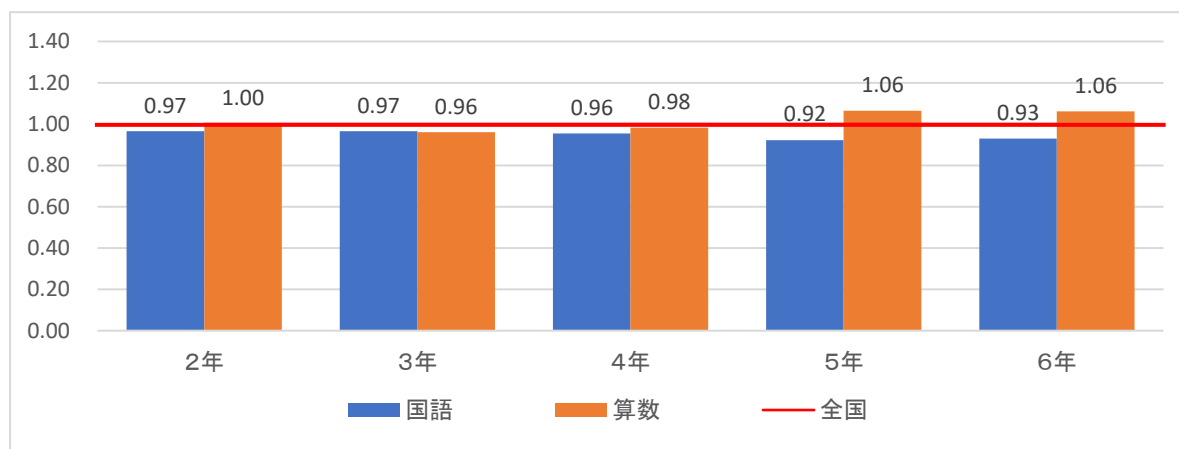


令和6年度 全国学力・学習状況調査及び寝屋川市学習到達度調査について 第二中学校区 池田小学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※小学2～5年生は寝屋川市学習到達度調査、小学6年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

寝屋川市学習到達度調査	国語	「漢字・言葉」の学習に関して課題がある学年が多い。読む力にも関わるため、読書習慣をつけることや漢字を正しく読み書きできるための学習活動に取り組んでいく。
	算数	繰り返し取り組んでいた項目には定着が見られた。「変化と活用」「測定」など課題のある項目は、数学的なものの見方を育成するような学習場面を増やすなど取組の充実を図っていく。
全国学力・学習状況調査	国語	言葉の特徴や使い方に関する事項に課題がある。音読や学習成果を確認する活動を繰り返し、定着を目指す。
	算数	「データの活用」領域に課題がある。複数の情報から必要な数値を読み取り立式するような問題に取り組んでいく。
	質問紙	授業中のICT機器の活用に関する質問に肯定的な回答が多く、活用での様々な効果を実感している様子がうかがえる。今後も積極的に活用し、考えを深めたり交流したりする場面を作っていく。

○学力向上の取組

【中学校区】

- ・寝屋川方式の学習を基に、毎回の授業に対して「真心の授業」を実践する。
- ・校区学力部会で各種学力テスト及び質問紙等の分析を行い、結果と課題を共有する。
- ・分析結果を利用した課題克服の手立てを共有し、主体的な学習者の育成をめざす。
- ・校区3校の公開授業を実施し、9年間のカリキュラムに基づく教科指導の充実を図る。
- ・今年度は自己調整力の向上を校区の課題として、合同研修の実施や取組の交流を行う。

【学校】

「つながる授業づくり」を研究テーマとして、ねやがわスタンダードを基に学校全体で授業改善、学力向上に取り組んでいる。放課後学習や懇談時学習の実施による学習保障や、算数では3～6年生で学習状況に応じた分割授業を実施し、きめ細かな指導を行っている。また、ディベート学習を通して考える力を育成するとともに、家庭学習に関しては宿題に加え自主学習ノートの指導にも力を入れ、自ら学ぶ姿勢、自己調整力の向上をめざしている。特に高学年では、中学校での学習に向けて自ら計画的に課題に取り組む家庭学習に取り組んでいく。